

2019年1月10日(木)

子どものころ、わたしはわりといい子でした。母に対して反抗をしませんでしたし、学校でもきちんと話を聞き、先生に対しても敬意を払って接していました。羽目を外したパーティーにも参加しませんでしたし、高校時代に他の若者のようにアルコールやドラッグに手を出したりもしませんでした。

クリスチャンになってからは、自分がいい人であることにプライドを持っていました。正しい食事をし、ロックンロールの音楽をクリスチャンの音楽に置き換え、服もふさわしいものにし、安息日学校の教課を教え、伝道活動やアウトリーチの企画をし、自分の体験を証ししました。わたしはイエスに心をささげ、バプテスマを受け、心からみ言葉を信じ、み国で永遠に生きることを心待ちにしていました。外側から見たわたしは、正しい生活をしていたように見えました。しかしわたしは、自分のクリスチャンとしての経験がどれほど浅く、どれほどイエスを必要としていたかを知ることとなったのです。

ある夜、わたしは教会で行われていたクリスチャン生活についてのセミナーに参加しました。人は新たに生まれ変わらなければ、キリストとの救われた関係を持っていないのだ、と講演者が言いました。彼女は、エレン・ホワイトの言葉「クリスチャンの生活は古いものを修正したり改良したりすることではなくて、性質が生まれ変わることである。自我と罪に対する死があり、まったく新しいのちがある。この変化は聖霊の効果的な働きによってのみ行われる」(『希望への光』750ページ)を引用しました。そのとき、クリスチャンの生活にはわたしが考えていた以上のものがあるのだ、というはっきりとした現実が突き付けられたのです。確かに、わたしの人生はキリストに出会う前とは変わっていました。しかし、それは修正、改良されたものでした。わたしの自我は、まだそこに存在していたのです。わたしの短気ですぐに傷つく心は変わっていませんでした。わたしは高慢で、自分のやり方で物事を進めないと気がすみませんでした。わたしはキリストに身をゆだねていなかったのです。わたしは自分の行っている数々のことによって、救いは約束されていると信じてい

ましたが、救いの喜びがなかったのです！キリストを救い主と公言していましたが、キリストの愛を持っておらず、彼にすべてをゆだねていなかったのです。わたしの心の内には、キリストが住む必要があったのです。人はどのようにして、キリストに身をゆだねるのでしょうか。

第一に、救い主の必要性を認め、彼を選ぶことが必須条件です。

「教育、教養、意志の力、人間の努力などいづれも、それぞれ大切な役割を持ってはいますが、心を新たにする能力は全くありません。もちろん、わたしたちの行動にただ外面的の正しさは与えるかも知れませんが、心を変えることもできなければ、生活の源泉を清めることもできないのです。……新しい生涯を送るための新しい心、新しい希望、目的、動機などが与えられなければ、「神の国を見ることはできない」(ヨハネ 3:3)のです。」(『キリストへの道』21、22 ページ)

わたしには自分の心を変えることはできませんが、わたしの意志をささげる決心をすることはできました。わたしは赦しの賜物に応答し、独善の罪、うぬぼれの罪、放縦の罪、自己憐憫の罪を告白し、わたしの意志をキリストのそばに置き、彼に支配してもらう決断をしました。

第二に、充実した時間を永遠の命の源であるキリストと過ごし、彼を知ることです。

「永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです。」(ヨハネ 17:3)

み言葉と祈りの中でわたしの救い主と親密になるにつれ、わたしの生活は新しい目的を持ち始めました。イエスはわたしの人生をすばらしいものに変える過程を始めてくださいました。わたしの心は新たにされ、新たな態度、新たな感情を持つようになりました。神に仕えたいという気持ちが深くなりました。

みなさんの中には、「わたしはこの教会で生まれ育った。一生クリスチャンです！」「世の中に出たことはありません」「物心ついたころから主のために働いています」などとおっしゃる方がおられるかもしれません。これらのことを行ってきたことを神様に賛美いたします。しかし、これらすべてのことを行っている、あなたの

内にキリストを持っていない可能性があるのです。

クリスチャンとしての経験が浅はかである、と聖霊があなたにも語りかけておられるかもしれません。どうすれば良いのでしょうか。

「神よ、わたしを究め／わたしの心を知ってください。わたしを試し、悩みを知ってください。御覧ください／わたしの内に迷いの道があるか

どうかを。どうか、わたしを／とこしえの道に導いてください」(詩編 139 : 23、24) と、祈ってください。

心と人生を神様にささげれば、あなたの人生の変えなければならない事柄を一つずつ教えてください。

神と協力するとき、あなたの人生は以前と同じではなくなります。

祈りの時間の進め方の提案

※集会の時間に合わせて項目を減らしても構いません

【賛美の祈り】

- 父よ、わたしたちをすべての罪と不義より清めてくださったことを賛美いたします。
- 主よ、わたしたちに誘惑に負けない力を与えてくださること、そして喜びの内に父なる神の前に立たせてくださることを賛美いたします(ユダの手紙 24)。
- わたしたちの罪を示してください、恵みのみ手を差し伸べてくださることを賛美いたします。

【告白の祈り】

主よ、わたしたちの中に残っている自我を示してください。わたしたちが独善の罪、うぬぼれの罪、放縦の罪、自己憐憫の罪を犯したことをお赦してください。わたしたちの心の中の変わらなければならない部分をお示してください。

→少し沈黙の時間を持ちましょう。

【嘆願と執り成しの祈り】

- 主よ、あなたのみ旨の知識でわたしたちを満たし、あなたにふさわしい者として歩むことができるよう、お助けください。
- 霊的に、精神的に囚われている方々が、その罪悪感から解放されますよう祈ります。
- わたしたちを正義の実で満たしてください。
- 主よ、人を愛し、他の文化や宗教の方々に神を伝える数多くのアドベンチストが起こり、神に仕える働きをしますよう祈ります。
- 伝道の難しい場所でも神様のこと伝える現代のワルド派のような学生が立ち上がりまますように。
- 旧ソビエト連邦(ユーロ・アジア支部)にある、最もみ言葉の伝わっていない 28 都市に住む、6,200 万人の人々のために祈ります。
- 中東の 20 各国に住む 746 の民族に伝道する伝道師を神様が立ててくださるよう祈ります。
- 北アジア太平洋支部と南アジア太平洋支部の 1000 人宣教師ムーブメントのために祈ります。これらの若者が台湾、中国、ロシア、ビルマなどの国で奉仕をするとき、聖霊のバプテスマを受けて、神様の働きをなすことができますように。
- わたしたちの祈りのリストの 7 人かそれ以上の人のために祈ります(適切であれば名前を挙げながら)。

【感謝の祈り】

- 主よ、あなたを選ぶ決断ができるようにわたしたち導いた方々を与えてくださったことを感謝します。
- 悔い改めの賜物をくださり、あなたを必要としていることを示してくださり感謝します。
- 始めから終わりをご存じであり、あなたのタイミングと方法で祈りに答えてくださることを感謝いたします。

【日本の伝道のための祈り】

- 昨年、日本における全員参加伝道でまかれた真理の種のために。
- 日本のために働き、そして祈る、働き手を送ってくださいますように。

【推奨する讃美歌】

希望の讃美歌 120 番 「わが主こそ」
希望の讃美歌 332 番 「より近くわが主の」
希望の讃美歌 340 番 「恵みの泉よ」
希望の讃美歌 355 番 「祈りのことば」
希望の讃美歌 362 番 「なしたまえみ旨を」

【神様の約束】

- 「だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。」(コリント 2・5：17)
- 「主の慈しみは決して絶えない。主の憐れみは決して尽きない。それは朝ごとに新たになる。あなたの真実はそれほど深い。」(哀歌 3：22、23)
- 「しかし、わたしたちの救い主である神の慈しみと、人間に対する愛とが現れたときに、神は、わたしたちが行った義の業によってではなく、御自分の憐れみによって、わたしたちを救ってくださいました。この救いは、聖霊によって新しく生まれさせ、新たに造りかえる洗いを通して実現したのです。神は、わたしたちの救い主イエス・キリストを通して、この聖霊をわたしたちに豊かに注いでくださいました。」(テトス 3：4～6)
- 「わたしはお前たちに新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く。わたしはお前たちの体から石の心を取り除き、肉の心を与える。」(エゼキエル 36：26)
- 「生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです。」(ガラテヤ 2：20)